

2020年8月7日

上場会社名 株式会社 ウッドワン
 コード番号 7898 URL <https://www.woodone.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 野口 貴博

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 2020年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	13,401	△13.9	222	29.6	198	51.1	8	△75.8
2020年3月期第1四半期	15,558	0.8	171	222.7	131	—	36	—

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 1,093百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 △896百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	0.95	0.95
2020年3月期第1四半期	3.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	84,652	37,416	43.1
2020年3月期	80,688	36,497	44.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 36,498百万円 2020年3月期 35,656百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	18.75	—	18.75	37.50
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2. 2021年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響を現時点において合理的に算定することが困難であるため、未定といたします。今後、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	9,841,969 株	2020年3月期	9,841,969 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	511,078 株	2020年3月期	511,054 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	9,330,891 株	2020年3月期1Q	9,331,573 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

1. 2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染症拡大による業績への影響を現時点において合理的に算定することが困難であるため、未定といたします。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、世界的規模で感染が拡大し続けている新型コロナウイルスの影響を受け、個人消費や企業活動が著しく制限されることで景気が急速に悪化し、極めて厳しい状況が続きました。緊急事態宣言の解除後は外出自粛要請等の緩和により企業活動は再開し始めたものの、感染再拡大の予兆もあり、未だ予断を許さない状況にあります。

住宅業界においては、新型コロナウイルスの感染拡大の影響もあり新設住宅着工戸数が減少し、当社グループの主力販売部門である持家や分譲戸建住宅の着工数も前年同期に比べ減少しました。今後の国内住宅市場の落ち込みの程度や回復に向かう時期などは不透明な状況にあります。

当社グループは、全世界に影響を与えている新型コロナウイルスの感染拡大という新たな課題に対し、生産、供給面においては、海外子会社を含めたサプライチェーンの一層の強化を図っています。また、販売面においては、これまでの訪問活動やショールーム運営からニューノーマル（コロナ禍後の新常態）を見据えた、新たな営業プロセスとして、従来の「訪問型営業」に「オンライン型営業」を加え、顧客接点強化、営業生産性の向上を図っています。また、ITツールの整備、活用、定着化を進め、生産性の向上や経費削減に努めながら、テレワークや時差出勤、就業場所の分散などにも柔軟に対応しています。

新しい市場であるリフォーム、非住宅、商環境施設や海外市場に向けて新たな商品を開発し、新たな生産・販売体制、仕掛けで既存の新築市場の動向に左右されない企業体質を目指しています。販売面でのグローバル展開としては、ニュージーランド子会社は当社グループ工場向けの生産数量を確保した上で外販の促進を行い、インドネシア子会社はさらなるインドネシア国内市場の開拓と欧州等の海外販路開拓を進めています。

当第1四半期連結累計期間は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けた一部建築現場の工事延期や上棟の延期などにより売上高が伸び悩みました。日本国内の工場は感染防止対策を行った上で通常稼働する中、生産性の向上と経費の削減に努めました。海外子会社においては、各国政府の要請により生産活動を一時停止していましたが、ニュージーランド子会社は2020年4月28日から生産活動を再開、フィリピン子会社も2020年5月16日から順次生産活動を再開し、現在、いずれも通常稼働しています。今後、各国とも感染拡大の状況次第では再度、操業が規制される可能性もあり、連結業績に与える影響は不透明な状況です。

こうした状況の中、当第1四半期連結累計期間の連結売上高は、13,401百万円（前年同期比13.9%減）、営業利益は222百万円（前年同期比29.6%増）、経常利益は198百万円（前年同期比51.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は8百万円（前年同期比75.8%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりです。

①住宅建材設備事業

住宅建材設備事業では、2020年4月上旬から5月下旬の外出自粛要請などの影響から、ショールームの休館、顧客訪問の自粛など営業活動に制限がありましたが、今期の新商品などを取り入れたスタイルブックの発刊やWEBコンテンツを活用した提案など新しい営業スタイルを取り入れ、オンラインによる商談等も積極的に実施しました。また、5月には無垢の木のキッチン「スイージー」に空間全体に落ち着きを与える色、癒しとぬくもりと知的さを醸成する色、上品でありながら穏やかでやすらぎを感じる色など5つの新色を追加発売しました。

緊急事態宣言解除後の6月は、感染防止対策を行いながらの対面営業も可能となり、今期発売する「無垢ピノアース建具」の新デザイン商品を積極的にPRするとともに、省施工商品の提案を切り口に内装建材のトータル受注活動を進めました。

また、ショールームは緊急事態宣言下、閉館を余儀なくされましたが、宣言解除後は完全予約制で再開し、6月は前年を上回る商談件数となりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の住宅建材設備事業の売上高は前年同期に比べ減少しましたが、木材の特性を活かした無垢の収納商品や職人不足に対応した省施工商品など高付加価値商品については新規顧客件数、売上実績ともに増加しました。

非住宅の分野では、商業施設やオフィス空間の木質化普及に向け、FSCの森林認証材であるLVLの構造材と2スリット型の接合金物を組み合わせたJWOOD工法による、中・大規模建築の木造化提案に力を入れ、福祉施設や保育園などの設計段階から参画して拡販に努めました。

これらの販促活動により、当第1四半期連結累計期間における住宅建材設備事業の売上高は13,099百万円（前年同期比14.1%減）、営業利益は161百万円（前年同期比46.0%増）となりました。

今後も、新型コロナウイルスの感染防止対策として実施してきたオンライン商談やメールマガジン配信によるデジタルマーケティングといった新たな営業手法をタイムリーに織り込みながら、省施工商品群に加え、無垢商品群・収納商品群の新ピノアースドア、無垢の木のキッチン新カラー、仕上げてる棚板といった新商品を中心に、更なる新規顧客の開拓、売上の拡大に取り組んでまいります。

②発電事業

発電事業では、本社敷地内に設置している木質バイオマス発電設備が安定的に稼働し、電気事業者に計画通り売電を行いました。木質バイオマス発電は、森林から直接産出する「間伐材等由来の木質バイオマス」、当社グループ内も含め製材所や木材加工所から生じる端材などの「一般木質バイオマス」、建築解体現場から排出される「建設資材廃棄物」を燃料としており、加えてフィリピン子会社の端材等を燃料用に加工して輸入するなど安定的に燃料調達を行っています。

この結果、当第1四半期連結累計期間における発電事業は、売上高が305百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益が60百万円（前年同期比0.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における連結財政状態は、為替の影響もあり、前連結会計年度に比べ資産が3,964百万円増加、負債が3,044百万円増加、純資産が919百万円増加しました。

資産3,964百万円の増加は、流動資産が144百万円、固定資産が3,820百万円増加したことによるものです。流動資産144百万円の増加は、主にたな卸資産が324百万円減少したものの、現金及び預金が70百万円、受取手形及び売掛金が72百万円、その他(流動資産)が328百万円増加したことによるものです。また、固定資産3,820百万円の増加は、主にインドネシア子会社の新規設備投資や為替の影響から建物及び構築物が474百万円、土地が2,108百万円、立木勘定が1,069百万円増加したことによるものです。

負債3,044百万円の増加は、主に未払法人税等が405百万円減少したものの、新型コロナウイルス対策やインドネシア子会社の新規設備投資のため借入金が増加した3,447百万円増加したことによるものです。

純資産919百万円の増加は、主に利益剰余金が配当金支払いなどにより166百万円減少したものの、為替換算調整勘定が1,006百万円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点において新型コロナウイルスの当社グループに対する影響を合理的に算出することが困難であることから、引き続き未定とさせていただきます。なお、業績予想の開示が可能となりましたら速やかに公表いたします。

なお、2021年3月期配当予想につきましても、上記業績予想と併せて公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,614	6,684
受取手形及び売掛金	7,389	7,462
商品及び製品	3,968	3,396
仕掛品	1,733	1,651
原材料及び貯蔵品	6,020	6,349
その他	675	1,004
貸倒引当金	△16	△18
流動資産合計	26,385	26,529
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	6,809	7,284
機械装置及び運搬具(純額)	4,402	4,435
土地	13,399	15,508
立木	14,021	15,090
その他(純額)	4,008	3,960
有形固定資産合計	42,642	46,278
無形固定資産	691	790
投資その他の資産	10,968	11,053
固定資産合計	54,303	58,123
資産合計	80,688	84,652
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,406	3,610
電子記録債務	2,559	2,538
短期借入金	7,145	6,869
未払法人税等	520	115
引当金	316	430
その他	2,940	2,356
流動負債合計	16,890	15,920
固定負債		
社債	3,300	3,300
長期借入金	20,476	24,199
繰延税金負債	291	358
引当金	396	402
退職給付に係る負債	1,128	1,123
その他	1,708	1,930
固定負債合計	27,300	31,315
負債合計	44,191	47,236

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,519	7,519
利益剰余金	22,042	21,876
自己株式	△2,121	△2,121
株主資本合計	34,765	34,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	466	451
為替換算調整勘定	585	1,591
退職給付に係る調整累計額	△160	△143
その他の包括利益累計額合計	891	1,899
新株予約権	157	158
非支配株主持分	682	759
純資産合計	36,497	37,416
負債純資産合計	80,688	84,652

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	15,558	13,401
売上原価	11,011	9,462
売上総利益	4,546	3,939
販売費及び一般管理費	4,374	3,717
営業利益	171	222
営業外収益		
受取利息	11	5
受取配当金	33	33
受取賃貸料	46	45
為替差益	6	56
その他	61	51
営業外収益合計	159	192
営業外費用		
支払利息	83	88
売上割引	103	98
その他	12	29
営業外費用合計	199	216
経常利益	131	198
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	51	—
その他	0	—
特別利益合計	52	1
特別損失		
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	98	—
操業休止関連費用	—	37
その他	11	3
特別損失合計	109	41
税金等調整前四半期純利益	74	158
法人税、住民税及び事業税	111	79
法人税等調整額	△66	62
法人税等合計	45	142
四半期純利益	28	16
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	36	8

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	28	16
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△78	△14
為替換算調整勘定	△851	1,075
退職給付に係る調整額	4	16
その他の包括利益合計	△925	1,077
四半期包括利益	△896	1,093
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△839	1,017
非支配株主に係る四半期包括利益	△56	76

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。